

はつかいち

市民見協だより

No.41

令和5年8月

編集／発行

廿日市市民生委員
児童委員協議会



宮島小なきり海岸に咲く半夏生(ハンゲシヨウ)

今後の年間計画	
9月	在宅高齢者訪問事業（9月～11月） 市内全域
	地域敬老事業 参加（9月～11月） 市内全域
	令和5年度新任民生委員児童委員研修会（県主催） 広島市内
11月	第92回全国民生委員児童委員大会 広島市内
	理事会 山崎本社 みんなのあいプラザ
1月	中堅民生委員児童委員研修会 広島市内
	民生委員・児童委員リーダー研修会 未定
	全国児童委員・主任児童委員活動研修会 未定
3月	理事会 山崎本社 みんなのあいプラザ

令和5年度 廿日市市民生委員児童委員協議会 総会を開催しました。

4月28日、ウッドワンさくらびあ大ホールで、令和5年度廿日市市民生委員児童委員協議会の総会が開催され、181名の委員が一堂に会しました。

新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザ並の5類に引き下げられる直前ということで、しばらく自粛していた民生委員の歌（花咲く郷土）の歌唱を再開し、3年ぶりに朗らかなメロディーがホールに響きました。

令和4年度事業報告及び決算報告、監査報告、令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について審議が行われ、全て承認され総会は終了しました。

松本市長・生田教育長を
表敬訪問しました

廿日市民生委員児童委員協議会

会長 堀 尚美

6月21日・22日の両日、正副会長4名で、廿日市市・松本市長、生田教育長を訪問いたしました。

松本市長には、持参したパンフレットに添って、民生委員・児童委員、主任児童委員それぞれの立場や職務を紹介の上、各委員が熱い思いで活動していることをお伝えしました。全国的に常態化している民生委員・児童委員のなり手不足の問題は、廿日市市民児協においても大きな悩みです。課題解決におけては、民生委員・児童委員を正しく知っていただくための広報に力を入れるとともに、協力委員制度の導入など、委員への新たな支援体制づくりをはじめ、負担軽減の為の活動しやすい環境づくりを進めていることを報告。今後の協力をお願いしました。市の職員の方々にも、民生委員・児童委員の立場や職務を改めて確認いただき、委員の負担軽減のためにも、本来の職務以外の仕事の依頼

は精査していただければ…と、お願いしました。

生田教育長には、主任児童委員が、学校と連携をとるにあたって感じている様々な心の内をお伝えし、地域差なくどの学校とも同様にスムーズに連携が取れる仕組みを一緒に考えていただきたい旨をお願いしました。加えて、民生委員が児童委員を兼ねる意義をお話した上で、「コミュニティ・スクールの組織の中での、民生委員・児童委員（主任児童委員）の役割や位置づけを明確にしていたいただきたいこともお願いしました。生田教育長からは、「学校毎の事情もあり、すぐには変わらないかもしれないが、できることから一緒に考えていきたいと思います。」と心強い励ましをいただきました。また、対談の終わりに、「短い時間でもこうして直接いろいろな話ができたことでとても距離が縮まり、さらに親しみがわきました。」との感想をいただきましたのは、とても嬉しいことでした。



民生委員児童委員信条は「わたくしたちは・・・」で始まります。なぜ「わたくしは・・・」ではないのでしょうか？ それは『民生委員・児童委員にはいつでも身近に（民生委員の）仲間がいること、周囲には連携・協働する多くの関係者がいることを自覚し、忘れないように』この思いが込められているからです。

今回の表敬訪問を通して、民生委員・児童委員や民児協活動への理解を得るための広報活動を行いつつ、民児協が「組織」として、様々な機関・団体、住民等との関係づくりに取り組むことの大切さを、改めて感じました。これから、私たち民児協の声を届け、対話を重ねることで相互理解を深めながら、より良い連携の形や仕組みを模索して行けたらと切望しています。皆様からの様々なご意見をお寄せいただければ幸いです。



全委員研修報告

講演..

「沈黙のヤングケアラー
〜その笑顔の内側に〜」
に参加して

児童家庭福祉部会

副部会長 田窪 伸二

去る4月28日総会後に行われた全委員研修会にて、ヤングケアラーについての講演を聴いて、特に印象に残った事を以下紹介します。講師（尼崎市スクールソーシャルワーカー 黒光さおり様）自身が元ヤングケアラーであり、ご自身が体験したことを交えながら語られました。

- ・ヤングケアラーの一般的な特徴および置かれた状況は、小学生・中学生・高校生・若者の年代により異なるが、小中高生のヤングケアラーへの支援では、次のようなことを考慮する必要がある。



効果があること	効果ない、または非常に危険
・家族に具体的な支援があること ・一番大切なのは安心・安全な近くの大人（支援者） ・本人と家族、それぞれに支援者の輪をつくる ・サポートしながら本人や家族ベースで、家庭のことを相談していく	・ヤングケアラーであると、本人や家族に伝えること（特に高校生にはNG） ・ヤングケアラーについてのチラシやアンケートなどを渡すこと ・こどもに対して行うヤングケアラー研修 ・専門の相談窓口へ直ぐにつないでしまうこと ・オンラインサロン、家庭の話聞くような当事者会への参加（特に高校生にはNG）



・アメリカのPCE「ポジティブな子ども時代の体験」の研究結果で、ヤングケアラーの早期発見が、色んな方面に良い影響を与える可能性があるとのこと。

・子ども達には日頃からポジティブになれるような地域で受け入れられる地道な活動（例えば、声かけ、一緒に何か作る、する活動等）が将来の子ども達にプラスになる。そのためには民生委員・児童委員の地道な活動が役に立って来るとの事で、これらを念頭に現状の活動を続けていく所存です。

黒光 さおり（くろみつ さおり）

社会福祉士、公認心理師

尼崎市内の小中学校、兵庫県内の高校でスクールソーシャルワーカー、キャンパスカウンセラーとして、ヤングケアラーを含む多くの児童生徒の支援に従事。尼崎ティーンズ応援ネットワークを立ち上げ、ヤングケアラーの子どもの当事者会や、10代が料理をして大人が食べ、売り上げを10代に還元するティーンズビストロを主宰している。

講師プロフィール

ヤングケアラーとは？

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていること。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

令和2年度、令和3年度に厚生労働省が行った調査によると、世話をしている家族が「いる」と回答したのは、小学6年生で6.5%、中学2年生で5.7%、高校2年生で4.1%、大学3年生で6.2%でした。これは、回答した中学2年生の17人に1人が世話をしている家族が「いる」と回答したことになります。（こども家庭庁HPより）



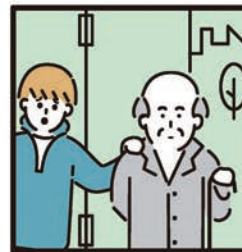
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

ヤングケアラーが直面する問題

大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っていると、こどもたちに次のような影響が出る可能性があります。

①学業への影響

遅刻・早退・欠席が増える。勉強の時間が取れない。

②就職への影響

自分にできると思う仕事の範囲を狭めて考えてしまう。自分のやってきたことをアピールできない。

③友人関係への影響

友人等とコミュニケーションを取れる時間が少ない。

（こども家庭庁HPより）



部会研修報告

聴覚障がい者への

理解・支援・協働

障がい者福祉部会

部会長 石田 洋一



私たち障がい者福祉部会では、令和5年度から令和7年度の各年度に、部会が企画する研修会・勉強会においてテーマを掲げ、理念を追求することを決めました。令和5年度では「身体障がいの理解」、令和6年度では「知的・発達障がいの理解」、令和7年度では「精神障がいの理解」と決定しました。これにより本年度5月22日(月)13時30分～15時45分山崎本社みんなのあいプラザ3階講座室にて、「障がい者への理解・支援・協働」をテーマとした研修会を開催しました。当日は、参加者に堀会長・高見副会長を含め54名の部会員が参加しました。来賓として田村次長兼健康福祉総務課長にもごあいさつをいただきました。

講師には、自らが聴覚に障がいをお持ちで、障がい者理解への活

動に日々邁進しておられ、「はつがいち福祉ねっと身体障がい部会」に所属されている「神貴美子」と野地智子さんの両名にお願いしました。



健常者の常識が障がいをお持ちの方には非常識であること等、実体験を交えたお話は、リアルな感動や驚きを呼ぶものでした。今後の民生児童委員活動に、十分に活かせる効果と価値ある研修会だったと満足しました。



高齢者福祉部会の研修会に参加して

高齢者福祉部会

部会長 長里 孝子



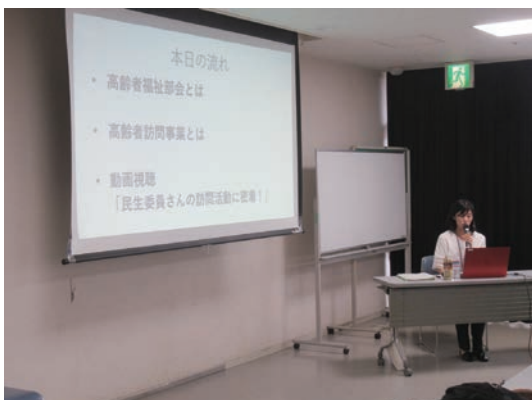
去る5月30日、部会員55名の出席のもと、全委員研修会を行いました。議題は、(1)高齢者福祉部会とは、(2)高齢者訪問事業について、(3)「民生委員さんの訪問活動に密着」の動画視聴で、講師は民児協事務局の小山さんをお願いしました。

まず議題(1)高齢者福祉部会とは、主に高齢者に関する事柄についての研修などを行います。これまでの活動は、緊急連絡票事業の立ち上げと運用方法の検討・福祉施設への視察研修・研修会や勉強会の実施などです。

次に議題(2)高齢者訪問事業の目的は、高齢者を訪問して見守りに必要なコミュニケーションを行う・気になる方を地域包括支援センターにつなぐ等です。あくまでも訪問事業なので、必ず対象者に会わなければいけない…という訳ではありませんが、新聞が溜まっていたり、カーテンが閉まっていたり等

何か気になることがあれば、地域包括支援センター等につなぐことが大切ということでした。

そして議題(3)ある民生委員さんの訪問の様子の動画を視聴しました。その方は笑顔でとても楽しそうに訪問されており、「訪問は楽しくできるといのが大切」と話されました。高齢者の方は、「親戚の人が来てくれる感じで、来られないとどうされたのかと心配になる」「また来てくださるとわくわくする」と、訪問をすごく心待ちにされており、よい関係を築いておられ、うらやましく思いました。私も「楽しい訪問」を心がけたいです。



地区活動の紹介

民生委員・児童委員をPR

廿日市地区

野津 正明

廿日市地区民児協は、今年も5月14日(日)の一斉取り組み日に、100年を超える民生委員・児童委員の歴史と実績をアピールするために、PRチラシとポケットティッシュの配布をゆめタウン廿日市で実施しました。



今年の1月には、民生委員・児童委員のなり手不足が深刻化しているという報道もあり、危機感を持つての行動でした。高齢化が進み、働くシニア層の増加や専業主婦の減少がなり手不足の背景にあると考え、私たちの存在や活動を

知ってもらい、さらによく理解してもらうことが目的でした。

5月13日(土)には、FMはつかいちの番組で、民生委員・児童委員の職務や活動、現状についてトークし、ここでも民生委員・児童委員の存在をPRしました。このように、様々な地域行事等に参加、協力してPRを頑張っています。

それぞれ活動自体は短い時間でしたが、地域住民の方々に理解を深めていただけたのではないかと思います。と同時に、住みよい社会になることを願いながら発信することができました。人のために地道に活動し、ささやかではありますが、やりがいや喜びを感じる後継者が増えていくことを願っています。



雨のお花見ツアー

宮園・四季が丘地区

友田 ゆき子

4月6日、私たち宮園・四季が丘地区民児協は、お一人暮らし高齢者を対象にした「岩国錦帯橋でお花見バスツアー」を4年ぶりに実施しました。コロナ禍の間、中止を余儀なくされていたため、参加者一同とても楽しみにしていました。残念ながら当日雨になりましたが、一人のキャンセルもなく、みなさんの期待度が伝わってきました。



雨で錦帯橋への散策は取りやめました。目の前に橋が見えるホテルのレストランでおいしい食事をいただき、お互いに交流を深め

ることができました。会場全体でのトークは無しにして、テーブルごとに楽しく会話をするなど、コロナ対策にも留意しながらのランチタイムでした。

雨の錦帯橋、少し残った桜の花びらが風に舞つ景色もなかなか風情がありました。食事がすんだら全員で記念写真を撮り、帰りにお土産屋と道の駅に立ち寄り、それぞれ買い物をしました。散策を取りやめた分、ゆったりと買い物もできて、雨の日は雨の日でまた楽しい過ごし方ができるということ、お花見とは言っても、家から一歩出て親しい人たちとコミュニケーションをとることが、この会の大きな目的であることを改めて実感しました。





3年ぶりの文化的行事

佐伯地区

友兼 和子

令和5年2月7日、さいき文化ホールに広島交響楽団を迎え3年ぶりに『文化的行事』を開催しました。文化的行事は佐伯地域の民児協が「佐伯の子どもたちに本物と感動を届けたい」と平成19年に始めた事業です。これまでは小学生全員を招待していましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため今回は規模を縮小しての開催となりました。



午前は津田小学校の全校生徒77名と一緒に、午後は友和小学校3・4年生と津田保育園の年長を合わせた70名と一緒に、楽団員50名編成の演奏を鑑賞しました。演奏以外に楽器紹介や指揮者体験などもあり大いに盛り上がりしました。後日、学校から届いた子どもたちの感想文には、「初めて聞いた。すごい迫力だった。」「楽器を習ってみたいになった。」「がんばって指揮者になりたい。」「今度は家族と一緒に聞きたい。」「今日の感想が書かれていました。」「民生委員・児童委員にとっても、本物の音楽に触れ、感動し、そして何よりも子どもたちの笑顔に出会えた最高の一日になりました。」

新型コロナウイルス感染症に対する今日も続く地域の取り組み

大野西地区

青木 健夫

コロナ禍においての地区民児協の活動〰〇の方針〷

2021年春、3度目の緊急事態宣言発令が延長され、3ヶ月の休校措置も実施されて、民生委員・児童委員の活動も、大きな制約を受けることになりました。同年8月には、全国民児連は次のように規定して各地に対処を求めました。

「民生委員・児童委員の活動は自主性・奉仕性・地域性という3つの基本的な性格がある。これは、強制して行つてではなく、あくまでも自主的にできることを、地域の特性に合わせて行っていくものである。」

新型コロナウイルス感染症の拡大は「災害」ともいえます。(中略)国や地域の状況を鑑み、ムリのない範囲での委員活動を進めてください。」

〷求められた活動〰訪問・見守りなど活動の実施について〷

目的実施方法を確認して、代替手段でも可能な場合には直接対面しない方法での活動を検討してくださいと求められた。これを受け

以下のように取り組んだ。
声掛けの代わりに、お便りどうぞ
①私たちの取り組み

担当地域の日常的なウォーキングで地域の皆さんと交流した。

民生委員活動の基本は、地域の人と接することである。時間を決めて歩くと、様々な行動に出会った。「お元気ですか」の声掛けに「がんばってます。有り難うございました。」という返答があることが多かった。なによりこの活動を大切にしていた。

②地区民児協の委員5人に拡大した活動に

小さなお便り「お変わりありませんか」の月に1回のポスティングに取り組んだ。日常の課題をA4のチラシにまとめ、高齢者、障がい者を中心に各戸に投函した。(私の地区で60枚、5人合計130枚)

チラシの主な内容は、地域の行事、近くの花、景色など身近な写真や他に連絡事項など。

③反響、感想

写真が楽しい。元氣しています。気にかけてくださって感謝。との声(電話含む)が多く寄せられた。コロナ禍の実態から、新たに心を通わせる実践ができ大変うれしかった。

新たな仲間を紹介します！



岩見 悦子
(廿日市地区)
障がい者福祉部会
令和5年4月26日委嘱



山本 正博
(廿日市地区)
児童家庭福祉部会
令和5年6月28日委嘱



岩崎 理絵
(廿日市中央地区)
児童家庭福祉部会
令和5年4月26日委嘱



小橋 貢
(廿日市中央地区)
高齢者福祉部会
令和5年4月26日委嘱



武者 昭彦
(宮園・四季が丘地区)
障がい者福祉部会
令和5年4月26日委嘱



安藤 隆史
(阿品・阿品台地区)
児童家庭福祉部会
令和5年4月26日委嘱



中曾 知子
(大野東地区)
児童家庭福祉部会
令和5年4月26日委嘱



三谷 昌一
(大野東地区)
障がい者福祉部会
令和5年6月28日委嘱



森田 弘子
(大野東地区)
高齢者福祉部会
令和5年4月26日委嘱

【表紙写真について】

宮園・四季が丘地区 河野 進委員が撮影し、提供していただきました。

ハンゲショウはドクダミ科の多年草で、広島県では準絶滅危惧種に指定。

宮島ではシカが嫌うハンゲショウの純群生が多い。ハンゲショウの白い花（実際は葉）は暦の七十二候「半夏生」（7月2日から七夕の前日まで）の頃に咲き、約10日で白色が消え緑葉に変わる。諸説あるが、名前の由来は葉が半分白くなって化粧しているようになる頃（半化粧）とも。
(2022年7月上旬 宮島小なきり海岸で撮影)

はつかいち

市民見協だより

廿日市市民生委員
児童委員協議会事務局
(廿日市市健康福祉総務課)

〒738-8512
廿日市市新宮一丁目13-1
TEL 0829 (30) 9151
FAX 0829 (20) 1611

編集後記

数年来 私たちの生活は変容を強いられ、失ったものが沢山ありました。大切な人たちと過ごせる時間の大切さを痛感した歳月でもありました。今ようやくコロナ禍が落ち着き、新たな日常が始まりました。まだまだ制限はありますが、我慢してきた行事がやっと楽しめるそうです。久しぶりに家族や友人にも会えます。その時相手の声の抑揚から心の機微を感じ取り、相手を思いやる気持ちは忘れないようにしたいものです。今年の夏も蒸し暑そうです。熱中症対策をしっかりして元気に乗り切っていきましょう。

(橋)